

### 木下ファーム

#### 水耕栽培事業を拡大

建築工事業の木下組などのKGGホールディングス（佐伯区五日市町石内、田中敏彦社長）グループの木下ファームは、佐伯区五日市町石内の休耕地約2100平方メートルに、水耕栽培ハウス4棟の増設を計画している。自社生産を強化して農業実績を積み、水耕栽培のビジネスモデル構築を目指す。

事業拡大へ、広島市の特別融資制度推進会議の認定を受け、日本政策金融公庫から農業経営基盤強化資金として設備資金を調達。ハウスは間口6・6×全長33×棟高2・9メートルと全長22・8メートルの各連棟1棟ずつの計4棟を新設する。設備は同地域で先行運営しているハウスと同様のNFT式水耕法を採用。肥料を含む養液を用い、農薬投与が不要で安定的な収穫量や品質を確保できるといふ。新設ハウスではハーブ類や香草類などの栽培を予定。

近年、増え続ける農作放棄地や休耕地を活用することで、農業収入の安定化を図り、里山の復活や若年層、女性、障害者、新規就農者の雇用創出を視野に入れる。中山間地域の活性化にもつなげたいとしている。

### 酒商山田と旬月神楽

#### 県内5酒蔵の酒粕使うようかん

酒商山田（南区宇品海岸2-10-7、山田淳仁社長）は、県内5酒蔵の酒粕を使った「ひろしま五ッ星酒羊羹」を発売した。

中区白島中町と西区庚午北に2店舗を構える和菓子店「旬月神楽」(明神宜之店主)に開発・製造を委託。栗蒸しようかんをベースにした餡に、純米吟醸酒以上の上質な酒粕を練り込んだ。酒粕は、相原酒造(呉市)の「雨後の月」、今田酒造本店(東広

島市)の「富久長」、金光酒造(同)の「賀茂金秀」、亀齢酒造(同)の「亀齢」、藤井酒造(竹原市)の「龍勢」を使用。食べ比べると、それぞれの香りや味わいの違いを楽しめるという。賞味期限は出荷日から40日。価格は1箱1750円。両社の店舗などで販売する。☎082-1251-1013。



### 広島酔心調理製菓専門学校

#### 県内農産品を使ったレシピ発表会

広島酔心調理製菓専門学校(西区福島町2-4-1)と広島信用金庫は11月25日、「県内農産品を使ったオリジナルレシピ発表会」食と農の交流会を開く。県内の生産者・農産品への理解促進と、地産地消の意識向上を目指す。

2~4人組の学生4グループの計12人が参加。上村農園(安佐南区川内)の広島菜や、はつはな果蜂園(廿日市市大野)の蜂蜜、世羅幸水農園(世羅郡)のナシ、ファームスズキ(豊田郡大崎上島町)のカキと車エビを使ったオリジナルレシピを発表し、試食を実施。生産者ほか、ホテルグランヴィア広島の副総支配人や調理部長、フードコンサルタントなど飲食業界に詳しいアドバイザーが評価し、表彰する。

### 松本特許事務所

#### 10月1日に基町で開業

松本特許事務所(中区基町5-44、松本文彦代表)が10月1日に開業した。

代表は広島大大学院を修了し、プラスチック成型加工の天下産業(安

佐南区)の技術部でCADでの製品設計、試作、不具合対策などを経験し、山広特許事務所(中区)に入所。2014年に弁理士登録し、独立した。大企業に限らず、さまざまな業種・規模の企業を対象とし、特許権や商標権などの知的財産権の取得へ特許庁に代理出願する。密な関係をつくり、より良い出願ができるように、顧問弁理士としての契約も勧める。企業とのやりとりには、ビジネスチャットなどを導入し、気軽に相談してもらえ環境をつくる。不慮のトラブルに巻き込まれないために知財戦略の必要性を広く発信していく。☎082-1521-3146。

### 国際ソロプチニスト平和広島

#### 認証30年で絵本読み聞かせ

田庸子会長(花満会長)は認証30周年記念で12月2日午後2時からチャリティ公演会「中井貴恵with大人と子供のための読み聞かせの会in広島」を中区大手町の広島県民文化センターで開く。

読み聞かせの会は女優の中井貴恵さんを代表に、1998年から活動を続けるボランティアグループ。朗読と仕掛け絵本、生演奏で構成し、第1部「おじいちゃんがおおきになっただけ」、第2部は「おおきなかぶ」を披露する。募金活動を実施し、被災地支援に充てる。入場料は大人1000円、4歳~小学生500円、3歳以下は無料。☎082-1255-2421(吉中千鈴)。

### 丸徳海苔(西区商工センター)は

11月25、26日、第4回工場祭「海苔祭」を開く。1日1万個の味付けのり詰め放題やのり汁のふるまい、もみのりプレゼント、1回300円以上の同社製食品が当たるガチャポンなど盛りだくさんの内容で、のりのおいしさを味わってもらおう。新米や野菜も販売。飲食コーナーも設ける。昨年は2日間で約2000人が来場。